



カケハシ・プロジェクト 有識者とのオンライン意見交換 フォローアップ事業の記録

1. プログラム概要

【目的・概要】

今年度のカケハシ・プロジェクト参加者代表による成果発表と有識者とのパネルディスカッションを通じて、カケハシ・プロジェクトの事業成果を可視化し、有識者や同窓生からの提言や助言を得ることで、今後の事業運営に活かすことを目的として実施しました。

また、米国及びカナダの同窓生がオンラインで一堂に会し、ネットワーキングを行うことによって、日本への関心を維持し、同窓生同士のつながりを強化するとともに、「架け橋」としての意欲を高めました。

【参加者】有識者 2 名、事業拠出先 2 名、同窓生 22 名 合計 26 名

■ パネリスト

《有識者》

1. 駐日米国大使館 教育交流担当官 サラ・ベロウソフ 氏
2. 駐日カナダ大使館 参事官 シリーヌ・ヒジャル 氏

《事業拠出先》

1. モーリーン・アンド・マイク・マンズフィールド財団 理事長兼 CEO
フランク・ジャヌージ 氏
2. カナダ・アジア太平洋財団 プログラムマネージャー ショーン・ジョーンズ 氏

《同窓生代表》

2024 年度招へい（米国・カナダ）プログラム参加者 3 名

1. デライラ・ローレンス・シャハバジアン 氏（米国・アルメニア系若手リーダー招へい）
2. タノール・リンジガロ・ホンド・モリナカ 氏（米国・スポーツ招へい（柔道））
3. キム・ケント・アバン 氏（カナダ・若手リーダー招へい）

- 米国及びカナダのカケハシ・プロジェクトの同窓生（2015 年度～2023 年度の参加者）合計 22 名
（内訳）米国 18 名（大学生・大学院生 5 名、社会人 13 名）
カナダ 4 名（大学生・大学院生 2 名、社会人 2 名）

【日程】

- オンライン有識者会議：2025 年 3 月 26 日（水曜日）
- 1. 有識者及び事業拠出先関係者紹介（一般財団法人日本国際協力センター（JICE））
- 2. 挨拶
外務省北米局北米第一課 外交実務研修員 中山 大輔 氏
- 3. カケハシ・プロジェクト事業概要説明・今年度事業の報告（JICE）
- 4. 同窓生代表からの発表・質疑応答・有識者及び事業拠出先関係者からのコメント
- 5. パネルディスカッション
 - ① 同窓生にとってカケハシ・プロジェクトの意義について
 - ② 同窓生ネットワーク強化のための工夫について
 - ③ 外交における人的交流の重要性について
 - ④ カケハシ・プロジェクト継続のための重要だと考えられる要素について
- 6. 有識者及び事業拠出先関係者による総評
- 7. 記念撮影
- 8. 閉会
- 9. 【交流】カケハシ同窓生ネットワーキング

2. 記録写真

	
【同窓生代表からの発表】 デライラ・ローレンス・シャハバジアン 氏	【同窓生代表からの発表】 タノール・リンジガロ・ホンド・モリナカ 氏
	
【同窓生代表からの発表】 キム・ケント・アバン 氏 質疑応答の様子	【パネルディスカッション】 有識者と同窓生
	
【記念撮影】	【交流】カケハシ同窓生ネットワーキング

3. パネルディスカッションでの意見（抜粋）

■ 同窓生にとってカケハシ・プロジェクトの意義について

- ・ カケハシ・プロジェクトは日本や日本文化、日本人について理解を深めるだけでなく、参加している私たち自身が、自分を見直し自国について改めて考える機会です。そして、私たち同窓生が両国の架け橋となり、友情を育むことで、日本と自国の文化や価値観を学び合い、相互理解を深めることができました。

■ 同窓生ネットワーク強化のための工夫について

- ・ 同窓会そのものが様々な「架け橋」となり、異なる地域をつなぐことです。米国でも色々な場所で同窓会組織がありますが、それらの組織がつながること、活動を共にすることが、地域間の交流や同窓会の発展と活動の拡大につながります。米国内の各地域のつながりや地域間交流の充実が、同窓会ネットワークの強化につながると思います。
- ・ 日本とカナダの同窓会組織が活発な理由の一つとして、若手リーダーの存在が大切だと考えます。カケハシ・プロジェクトには何千もの同窓生がいると思いますので、各地域の同窓会に若手リーダーを積極的に巻き込み、イベント企画や情報発信を担ってもらうことで、同窓生同士のつながりが強まり、組織の拡大とグローバル化につながると思います。

■ 外交における人的交流の重要性について

- ・ 人と人のつながりや人的交流には大きな価値があります。なぜなら、異なる立場にいる様々な人々が、それぞれ異なる役割を担うからです。大阪・関西万博でも多くの交流が展開されることを期待します。
- ・ 人的交流は非常に重要で、信頼関係の構築と相互理解の熟成、継続的な国際関係の第一歩となり得るうえ、そもそもそれらの主軸であると言えます。あらゆる交流で欠かせない要素だと思います。

■ カケハシ・プロジェクト継続のために重要だと考えられる要素について

- ・ 体験者の一人ひとりが未経験者のインスピレーションとなることです。内なる情熱なり、個人の心から発信される声がその良い例です。経験者が未経験者を導き、未経験者が経験者の通った道をたどりたくなるような魅力を持つことだと思います。
- ・ プログラム経験者が口を揃えて良かったと語る経験は、特にホームステイ体験などの日本の人々とのふれあいです。このプロジェクトを継続するために必要なのは、プログラムが個々の体験に重きを置くことであり、一人ひとりが「架け橋」となることだと思います。限られた予算や時間を出来る限り最大限に活かして、個々の体験を実現することが大切です。そして同窓会のプロモーションをすることだと思います。

4. 同窓生の感想（抜粋）

◆ 米国 社会人

プレゼンテーションやゲストの講評は非常に素晴らしく、大変学びの多いイベントでした。私は多くのことを学ぶとともに、日本との素晴らしいつながりや、カケハシ・プロジェクトがもたらす深い影響を、より鮮明に実感することができました。また、自分の目標を追求する意欲が一層高まり、米国と日本の架け橋を築くという夢への思いもさらに強まりました。このような貴重な場に招待してくださったことに心より感謝申し上げます。関わってくださった皆さま、本当にありがとうございました。

◆ 米国 社会人

このイベントに参加するにあたり、特に具体的な期待は持っていませんでしたが、交流し、学び、地域社会への関わり方を探るとともに、日米関係に貢献する方法を模索したいと考えていました。また、同窓生がそれぞれの地域でどのような影響を与えているのかを知ることも楽しみにしていました。実際のイベントは、私の期待をはるかに上回るものでした。登壇者の方々は素晴らしいストーリーを共有してくださり、カケハシ・プロジェクトの多様なプログラムについて知ることができたことに感動しました。それぞれの取り組みが、参加者やその地域社会に大きな影響を与えている様子は非常に刺激的でした。すべてが綿密に計画され、滞りなく運営されており、本当に素晴らしいイベントでした。

◆ カナダ 大学生

2 人の同窓生が自身の経験やバックグラウンドを、日本の文化やライフスタイルと結びつけて語っていた点が印象的でした。文化が異なっているにもかかわらず、共通点が多く存在することに気づかされ、とても興味深かったです。また、3 人目の発表者の卓越したコミュニケーション能力には感銘を受けました。日本と ASEAN・カナダの文化とのつながりを維持するために、積極的な取り組みがなされていることがよく伝わってきました。すべての発表者の方々に大いに刺激を受け、私も同窓生の一人として、両国のつながりをより強固なものにするために一層努力したいと感じました。

5. 参加者の対外発信（抜粋）

Had the pleasure of connecting with some incredible leaders and changemakers, including Sirine Hijal (Consular - Canadian Embassy in Japan - Foreign Affairs), Frank Jannuzzi (President & CEO, The Maureen and Mike Mansfield Foundation) Siân Jones (Program Manager, Kakehashi Project, Asia Pacific Foundation of Canada) representatives from the U.S. Embassy, and fellow Kakehashi delegates from across North America! As the only Canadian representative it was an honour to showcase how Calgary and Canada can continue to build strong bridges with Japan. With so many exciting opportunities and collaborative events on the horizon, I'm hopeful that the projects we've been working on will spark even more cross-cultural inspiration between our nations. There's still a lot of work ahead in strengthening ties across the Indo-Pacific — and I'm committed to doing my part at the local level here at home to make a difference. Huge thank you to Japan International Cooperation Center (JICE), Government of Canada, Japan - The Government of Japan, The Maureen and Mike Mansfield Foundation and Asia Pacific Foundation of Canada for this great opportunity! Let's keep building together! 頑張りましょう！ 🇨🇦 🇺🇸 #KakehashiProject #JapanCanada #Indopacific #PublicDiplomacy #InternationalRelations #YouthLeadership #BridgeBuilders #kakehashi #kakehashiproject 🇨🇦 🇺🇸 JICA 🇯🇵 	3 月 28 日 (LinkedIn) カナダ 社会人 在日カナダ大使館（外務省）領事のシリーズ・ヒジャル氏、モーリーン・アンド・マイク・マンスフィールド財団の理事長兼 CEO のフランク・ジャヌージ氏、カケハシ・プロジェクト（カナダ・アジア太平洋財団）のプログラムマネージャー・ジョーンズ氏、米国大使館の代表者の方、そして北米各地から参加したカケハシ・プロジェクトの仲間たちと素晴らしい出会いを持つことができました！ 今回、唯一のカナダ代表として、カルガリーとカナダが日本との強い架け橋をこれからも築いていけることをアピールできたことは大変光栄でした。今後予定されている数々の貴重な機会や交流イベントを見据えながら、私たちが取り組んでいるプロジェクトが、両国間でさらに多くの文化交流を生み出すきっかけになることを期待しています。インド太平洋地域全体での絆を深めるためには、まだまだやるべきことがたくさんあります。これからも、私自身、地元カナダでできることにしっかり取り組み、貢献していきたいと思います。 この素晴らしい機会を与えてくださった、カナダ政府、日本政府、モーリーン・アンド・マイク・マンスフィールド財団、そしてカナダ・アジア太平洋財団に心より感謝申し上げます！これからも一緒に架け橋を築いていきましょう！頑張りましょう！
---	--

実施団体：一般財団法人日本国際協力センター（JICE）